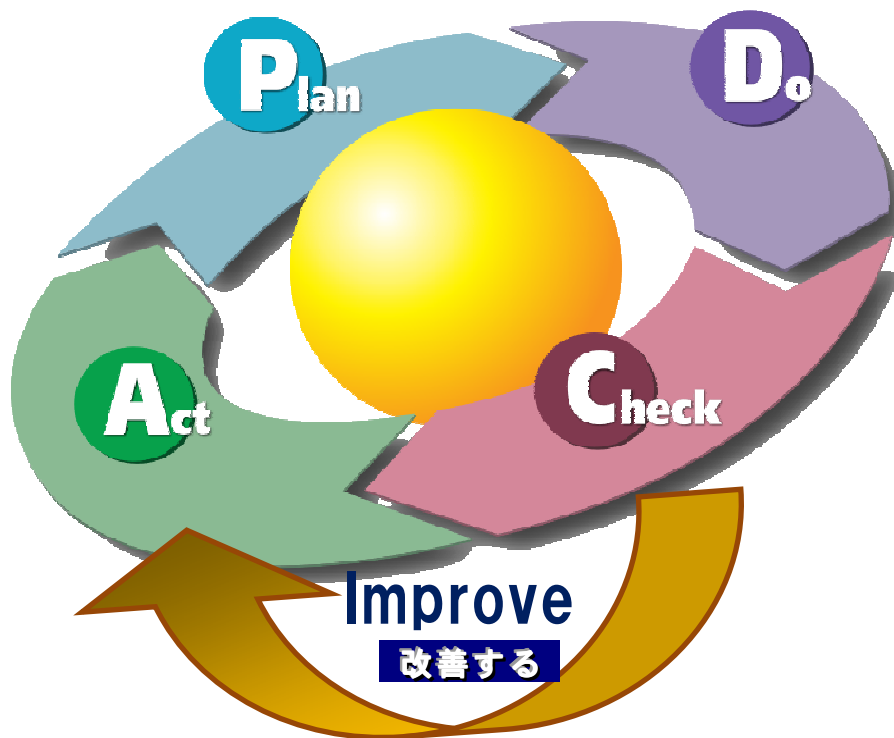


平成26年度 総合計画政策評価結果



平成 27 年 9 月

袋 井 市

目 次

1 「政策評価」とは	1
(1) 「政策評価」の位置付けと役割	
(2) 取組経過	
(3) 「政策評価」の対象と手法	
(4) 今後の予定	2
【総合計画推進（政策評価等）のイメージ】	
2 評価結果の総括と概要	3
3 市政運営への活用	4
6 政策、29取組の評価と今後の展開方向【一覧表】	5
4 政策別評価結果	6
5 取組別評価結果	13

1 「政策評価」とは

(1) 「政策評価」の位置付けと役割

袋井市では、袋井市総合計画後期基本計画（平成23～27年度）に基づき、市民に開かれた市政運営を推進するため、平成23年度から政策・取組レベルでのP D C Aの仕組みを構築（体系化）し、結果を公表しております。

「政策評価」は、政策・取組ごとに前年度の指標目標（成果）や事業内容等をできる限り客観的に評価（チェック）し、今後の方向性などを展望（業務改善）し、総合計画後期基本計画における事業全体の推進を図り、多様化する市民ニーズに対応できる個性あるまちづくりを目指して実施するものです。

また、政策評価の結果を市民の皆様に公表するとともに、次年度の市政の運営がより効果的に図られるように役立ててまいります。

(2) 取組経過

平成 23 年度	試行実施
	平成23年12月 平成22年度の政策評価結果を公表
平成 24 年度 ～	<u>本格実施</u>
	9月市議会で前年度の政策評価結果を報告

(3) 「政策評価」の対象と手法

ア 評価の対象

総合計画後期基本計画に掲載した本市が目指すべき基本的方向である“6つの政策”と、政策をより具体化した行政活動の目標となる“29の取組”について、それぞれの評価を行っています。

イ 評価の手法

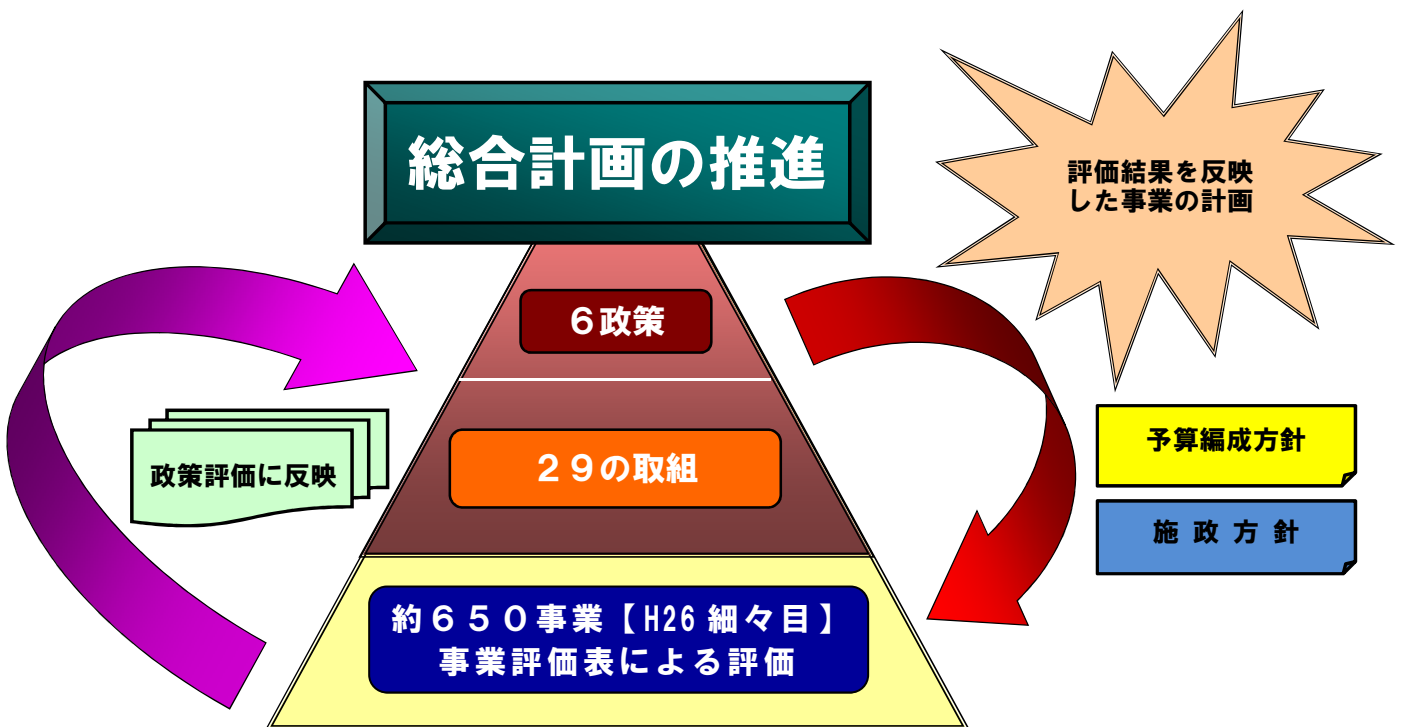
最新の国内外情勢などの社会潮流や、本市の現状分析など「定性的な観点」と、指標の進捗状況等による分析や事業評価表に基づく事業実績などの「定量的な観点」とを織り交ぜた客観性の高い評価を行い、各取組を4段階（4～1）で評価し、今後の展開方向を展望します。

また、6つの政策の観点から、各政策に属する取組を総合的に評価して、各政策を4段階（A～D）で評価し、次年度の市政運営の基本方針を展望します。

(4) 今後の予定

- ・平成27年8月 行政経営会議にて政策評価（案）を協議
- ・平成27年9月 袋井市議会（常任委員会）に政策評価結果を報告
- ・平成27年10月 袋井市ホームページに政策評価結果を公表
次年度予算編成に政策評価結果を活用
- ・平成28年2月 袋井市議会にて次年度予算の審議
- ・平成28年3月 次年度予算の確定

【総合計画推進（政策評価等）のイメージ】



3 評価結果の市政運営への活用

平成28年度の市政運営の基本的考え方については、政策評価の結果を踏まえ、より一層の業務改善を図りつつ、直面する課題にしっかり対応するとともに、第2次総合計画の「3つのまちづくりの基本目標」を実現するため、活力と創造で未来を先取る視点から、次の6分野に重点的に取り組んでまいります。

<第2次総合計画 まちづくりの基本目標>

- ①子どもがすこやかに育ち みんなが健康で幸せに暮らすまち【心と体の健康】
- ②活力にあふれ 潤いと安全・安心を実感できるまち【都市と自然の健康】
- ③つながりと交流を大切に 豊かな市民力で未来を拓くまち【地域と社会の健康】

(1)子どもがすこやかに育ち、若者がきらりと輝くまちへ

待機児童ゼロを目指して、(仮称)笠原認定こども園の整備など、保育環境の充実を図るとともに、子育て不安を解消するため、保育コンシェルジュや子育て応援アプリの活用など、市民総参加で安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組めます。

子ども・子育て支援の一体的なエリアとして整備している『育ちの森』を中心に、乳幼児期から青少年期までの子どもや保護者を総合的に支援します。

また、ICT機器の整備等を進め、徳・知・体の調和のとれた教育環境の充実を図り、未来を担う若者の育成に取り組めます。

さらに、若い世代の出会い・結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組を進めるとともに、企業等と連携して、ワークライフバランスや働き方の見直しに努めます。

(2)健康でアクティブに、みんながいきいきと暮らすまちへ

住み慣れた地域で、誰もが健康でアクティブな生活を送り、必要な医療・介護ケアが将来にわたって受けられるよう、総合健康センターを核として、保健・医療・介護・福祉の切れ目のない包括的な支援体制の充実を図ります。

市民の自発的な健康づくりの支援をはじめ、生活習慣病及び認知症の発症・重症化予防に力を入れ、健康長寿の実現に努めるとともに、就労意欲のあるアクティブシニアの就業促進を図り、社会貢献を通じた生きがいづくりを推進します。

また、平成32年のオープンを目指して、総合体育館の整備に取り組み、気軽にスポーツを行える環境を充実します。

(3)もっと便利に快適に、コンパクトで魅力あるまちへ

防災や産業、子育て分野など、ICTを活用した先進的で利便性の高い取組を積極的に推進するとともに、Wi-Fiスポットの整備に加え、ICTを活用できる人材の育成に取り組めます。

また、駅南地区の新しいまちづくりを通して、生活機能を集約し、利便性が高く、潤いと賑わいのある魅力的な都市空間の創出に努めます。

(4)人もまちも元気に、活力とにぎわいあるまちへ

産学官金の連携のもと、企業の販路開拓や新製品の開発など新たな展開を支援するとともに、地域経済を支える企業の移転・拡張需要への対応と地域雇用の確保を目的に、海岸部の防潮堤整備事業などと連携した豊沢工業団地等の開発を進めます。

また、にぎわいを創出するため、魅力ある観光資源の磨き上げとともに、人を惹きつける地域資源を活用するシティプロモーションを推進します。

(5)人命被害ゼロを目指して、安全・安心を実感できるまちへ

地震・津波被害を軽減するため、引き続き住宅の耐震化や家具等転倒防止、同報無線のデジタル化を推進するとともに、命山や防潮堤の整備を着実に進めます。

地域と行政が協力して、地域防災対策会議等を実施し、底力ある地域防災力の強化を図ります。

また、平成32年の開署を目指して、新消防庁舎及び(仮称)防災センターの整備に取り組み、防災拠点施設の強化を図ります。

(6)地域のつながりと絆を深め、市民や女性が活躍できるまちへ

人口減少や少子高齢化に伴う様々な課題へ対応するため、市民と行政の協働によるまちづくりのさらなる推進を図るとともに、担い手の育成、コミュニティビジネスの仕組みづくりを支援し、連携して地域の課題解決に努めます。

また、地域の活動拠点となる公民館のコミュニティセンター化を進めるとともに、市民や女性がまちづくりの主役となり、活躍できる仕組みづくりに努めます。

■ 6 政策、29 取組の評価と今後の展開方向

政策1 みんなでつくる健康なまちづくり				政策の 評価	H26 B	H25 B
平成26年度評価	取組指標 の評価	有効性等の 評価	主要事業の 評価	取組の 評価	今後の 展開方向	H25今後の 展開方向
取組1 健康づくりの推進	1.5	3.3	3.4	2.7		
取組2 地域医療の充実	3.5	3.7	3.6	3.6		
取組3 健康長寿の推進	2.7	3.7	3.1	3.2		
取組4 障がい者の自立支援	3.0	2.7	3.5	3.0		
取組5 共生社会の確立	2.3	2.3	3.3	2.7		
取組6 市民スポーツの充実	1.5	3.0	3.2	2.6		
平均値	2.4	3.1	3.4	3.0		

政策2 みんなで備える安全・安心なまちづくり				政策の 評価	H26 B	H25 B
平成26年度評価	取組指標 の評価	有効性等の 評価	主要事業の 評価	取組の 評価	今後の 展開方向	H25今後の 展開方向
取組1 地震対策の推進	3.3	3.7	3.5	3.5		
取組2 治水・治山対策の推進	2.7	3.0	3.2	3.0		
取組3 地域防犯の推進	2.5	2.7	3.3	2.8		
取組4 交通安全の推進	2.0	2.0	3.8	2.6		
取組5 消防・救急体制の強化	2.5	2.7	3.6	2.9		
平均値	2.6	2.8	3.5	3.0		

政策3 みんなで取り組む快適なまちづくり				政策の 評価	H26 C	H25 C
平成26年度評価	取組指標 の評価	有効性等の 評価	主要事業の 評価	取組の 評価	今後の 展開方向	H25今後の 展開方向
取組1 循環型社会の形成	2.6	2.3	3.3	2.7		
取組2 快適な衛生環境の確保	2.0	1.7	3.6	2.4		
取組3 川と海の水質改善	3.3	2.3	3.8	3.1		
取組4 浅羽海岸地域の保全	2.0	3.0	3.5	2.8		
取組5 憩いの空間の創出	2.5	2.0	3.0	2.5		
取組6 快適な都市空間の創出	2.7	3.0	3.5	3.1		
取組7 交通基盤の充実	2.7	3.0	3.5	3.1		
取組8 安全な水の安定供給	2.3	3.0	3.5	2.9		
平均値	2.5	2.5	3.5	2.8		

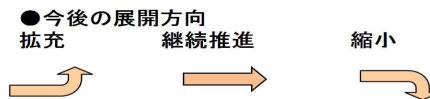
政策4 未来を拓く人づくり				政策の 評価	H26 C	H25 C
平成26年度評価	取組指標 の評価	有効性等の 評価	主要事業の 評価	取組の 評価	今後の 展開方向	H25今後の 展開方向
取組1 子育て環境の充実	1.3	3.7	3.6	2.9		
取組2 心ゆたかな若者の育成	2.0	3.7	3.9	3.2		
取組3 芸術・文化・生涯学習の推進	1.3	2.3	3.4	2.4		
平均値	1.5	3.2	3.6	2.8		

政策5 活力ある産業づくり				政策の 評価	H26 B	H25 B
平成26年度評価	取組指標 の評価	有効性等の 評価	主要事業の 評価	取組の 評価	今後の 展開方向	H25今後の 展開方向
取組1 ゆたかな農業の振興	2.8	3.7	3.3	3.3		
取組2 魅力ある商業の振興	2.7	3.3	3.9	3.3		
取組3 活力ある工業の振興	2.7	3.7	3.5	3.3		
取組4 にぎわいある観光の振興	2.5	3.3	3.8	3.2		
取組5 就労の支援	3.0	3.3	3.0	3.1		
平均値	2.7	3.5	3.5	3.2		

政策6 とともに支え合う地域づくり				政策の 評価	H26 B	H25 B
平成26年度評価	取組指標 の評価	有効性等の 評価	主要事業の 評価	取組の 評価	今後の 展開方向	H25今後の 展開方向
取組1 市民活動の支援	2.8	3.3	2.8	3.0		
取組2 地域コミュニティの充実支援	2.0	3.7	3.3	3.0		
平均値	2.4	3.5	3.1	3.0		

平成26年度評価 全政策（全取組）の平均値	取組指標 の評価	有効性等の 評価	主要事業の 評価	取組の 評価
	2.4	3.0	3.4	3.0

- 政策の評価
A: 多くの成果があがっており、順調である
B: 一定の成果があがっており、概ね順調である
C: 成果があがっているものもあるが、順調とはいえない
D: 成果があがっているものが少なく、順調ではない
- 取組の評価
4～3.6 : 順調
3.5～3 : 概ね順調
2.9～2 : 一部に改善を要する
1.9～1 : 全体的に改善を要する



平成 26 年度 「政策別評価」結果

■ 政策 1	みんなで作る健康なまちづくり	… 7
■ 政策 2	みんなで備える安全・安心なまちづくり	… 8
■ 政策 3	みんなで取り組む快適なまちづくり	… 9
■ 政策 4	未来を拓く人づくり	… 10
■ 政策 5	活力ある産業づくり	… 11
■ 政策 6	ともに支え合う地域づくり	… 12

A：順調 B：概ね順調 C：一部順調ではない D：あまり順調ではない

<評価結果>

取組の名称	H26評価					H25評価
	取組指標	有効性等	主要事業	取組評価	今後の展開方向	今後の展開方向
取組1 健康づくりの推進	1.5	3.3	3.4	2.7	↑	↑
取組2 地域医療の充実	3.5	3.7	3.6	3.6	→	↑
取組3 健康長寿の推進	2.7	3.7	3.1	3.2	↑	→
取組4 障がい者の自立支援	3.0	2.7	3.4	3.0	→	→
取組5 共生社会の確立	2.3	2.3	3.3	2.7	→	→
取組6 市民スポーツの充実	1.5	3.0	3.2	2.6	↑	↑
平均値	2.4	3.1	3.4	3.0		
総 括						
<p>◎「指標」の評価において、取組1の「健康づくりの推進」が“1.5”と低い評価となっている。「主要事業」の評価が“3.4”になっているにも関わらず、評価が低いことから、PDCAにおける成果の検証などにより効果を高める事業展開が求められている。</p> <p>◎「有効性等」の評価においては、高齢社会の進行に伴い、医療費・介護費が増加する影響から、取組1の「健康づくりの推進」及び、取組3の「健康長寿の推進」における緊急性が高まっている。また、取組5の「共生社会の確立」は、評価が“2.3”と低いものの、市民の誰もが個性と能力を発揮し、安心して暮らせる社会を実現していくことは、今後ますます重要となる。</p> <p>◎「主要事業」の評価においては、全ての取組で“3.1”以上となっている。特に取組2の「地域医療の充実」については、総合健康センターの施設整備なども順調に進捗した結果“3.6”と高い評価となった。</p> <p>◎政策全体としては、取組指標の評価の平均が“2.4”とやや低いものの、「総合健康センター」の整備など、保健・医療・介護・福祉サービスを切れ目なく提供するための取組を着実に推進していることに加え、市民スポーツの拠点となる新たな総合体育館の建設に向けた方向性を定めるなど一定の成果が現れていることから、評価を「B」とした。</p>						

<主な成果等>

取組1	個別指導の強化等により、糖尿病が強く疑われる人の割合が低下！ 健康マイレージ制度の実施や地域健康寺子屋を開催し、個人も地域も健康に！
取組2	総合健康センター整備で地域完結型の保健・医療・介護・福祉サービスを充実！
取組3	「はつらつ教室」や「楽笑教室」などの介護予防教室を増やし、ますます元気に！ 高齢者が、いつまでも住み慣れた地域で安心安全に暮らせるまちへ！
取組4	「障害者自立支援通所施設の定員数」、「手話通訳や点訳などのボランティア登録者数」の増加により誰もが住みよいまちへ！
取組5	男女が共に自立し参画する社会へ！ 外国人との共生社会により、誰もが安心して生活できる環境づくり！
取組6	一人でも多くのスポーツ参加者を！ 多様化するニーズに対応した「総合体育館」の建設を目指す！

<今後の展開方向>

- ◎糖尿病を中心とした生活習慣病予防を重点的に進めるため、発症予防に向けた運動習慣・食習慣など生活習慣の改善や、重症化予防のための個別指導など、市民のライフステージに応じたきめ細かなサービスの提供に取り組んでいく。
- ◎「総合健康センター」を拠点として、切れ目のない保健・予防、医療、介護・福祉サービス事業の充実を図っていく。
- ◎新たな総合体育館については、市民スポーツの拠点にふさわしい機能を有する施設となるようPFI手法による整備の検討を進め、計画的かつ効果的な取組を推進していく。

A：順調 B：概ね順調 C：一部順調ではない D：あまり順調ではない

<評価結果>

取組の名称	H26評価					H25評価
	取組指標	有効性等	主要事業	取組評価	今後の展開方向	今後の展開方向
取組1 地震対策の推進	3.3	3.7	3.5	3.5	↑	↑
取組2 治水・治山対策の推進	2.7	3.0	3.2	3.0	→	→
取組3 地域防犯の推進	2.5	2.7	3.3	2.8	→	→
取組4 交通安全の推進	2.0	2.0	3.8	2.6	→	→
取組5 消防・救急体制の強化	2.5	2.7	3.6	2.9	→	→
平均値	2.6	2.8	3.5	3.0		

総括

- ◎「指標」の評価において、取組3の「地域防犯の推進」以外は、前年よりポイントが下がっており、平均値は前年から0.5ポイント低下した。
- ◎「有効性等」の評価においては、有効性や緊急性が前年より下がったことから、全ての取組の評価が前年から低下し、平均値も前年から0.8ポイント低下した。
- ◎「主要事業」の評価においては、全ての取組で“3.2”以上となっている。特に取組4の「交通安全の推進」については、極めて高い評価となっている。
- ◎政策全体としては、一部改善が必要な取組があるものの、取組1の「地震対策の推進」や取組2の「治水・治山対策の推進」が概ね順調に推移していることから、評価を「B」とした。
- ◎昨年に続き、家具転倒防止器具の現物給付や借家の家主への補助を推進するとともに、新たに、耐震シェルター整備事業を開始した。
- ◎袋井市静岡モデル防潮堤整備事業に着手するとともに、平成26年10月から「ふるさと防災寄附金」の推進を図り、市、地域、事業所等が一体となって防災対策に取り組んだ。

<主な成果等>

取組1	「地域防災計画」の津波対策編を策定、静岡モデル防潮堤整備事業に着手！
取組2	洪水被害の防止と常襲冠水地域の被害解消のため、河川改修や調整池、雨水貯留施設の整備を推進！
取組3	警察や地域安全推進員等と連携を図り、地域防犯活動の強化に努め、犯罪認知件数が大幅に減少！（▲190件）
取組4	追突・出会頭の事故削減を重点目標として交通安全対策を進め、人身事故件数の死者数が減少！（▲3人）
取組5	消防団員の処遇改善のため、礼式大会の廃止や報酬の引き上げ、浅羽方面隊5、6分団の統合などの方針を決定！

<今後の展開方向>

- ◎地震や津波の被害を軽減するため、引き続き、住宅の耐震化や家具等転倒防止の推進、命山の整備や同報無線のデジタル化を進めるとともに、地域防災対策会議等を実施し、地域防災力の強化を図っていく。
- ◎治山・治水対策については、今後の土地利用の動向等を踏まえ、都市計画決定されている袋井市駅南地区の都市型排水ポンプの整備について検討するなど総合的に対策を進めていく。
- ◎様々な災害に対応する防災拠点施設となる「新消防庁舎及び（仮称）防災センター」について、平成32年の開署を目指して、整備を進めていく。

A：順調 B：概ね順調 C：一部順調ではない D：あまり順調ではない

<評価結果>

取組の名称	H26評価					H25評価
	取組指標	有効性等	主要事業	取組評価	今後の展開方向	今後の展開方向
取組1 循環型社会の形成	2.6	2.3	3.3	2.7	→	↑
取組2 快適な衛生環境の確保	2.0	1.7	3.6	2.4	→	→
取組3 川と海の水質改善	3.3	2.3	3.8	3.1	→	→
取組4 浅羽海岸地域の保全	2.0	3.0	3.5	2.8	↑	→
取組5 憩いの空間の創出	2.5	2.0	3.0	2.5	→	→
取組6 快適な都市空間の創出	2.7	3.0	3.5	3.1	→	↑
取組7 交通基盤の充実	2.7	3.0	3.5	3.1	→	→
取組8 安全な水の安定供給	2.3	3.0	3.5	2.9	→	→
平均値	2.5	2.5	3.5	2.8		
総 括						
<p>◎「指標」の評価において、取組3の「川と海の水質改善」について、太田川及び原野谷川の環境基準が揃って目標を達成するとともに、前年より更に改善した。流域に暮らす人々の意識を変える息の長い地道な取組ではあるが、今後の活動に向け、弾みをつく結果が現れた。</p> <p>◎「有効性等」の評価において、取組1～3の自然環境の改善・保全に向けた取組については、いずれも緊急性については低い評価となっている。</p> <p>◎「主要事業」の評価において、昨年同様、全ての項目（有効性・効率性・廃止の影響）が高い評価となっている。</p> <p>◎政策全体としては、現計画に挙げられている取組や事業については、着実かつ継続的に取り組むべきものが多く、目標の達成に至らなかった項目が多いことから、評価を「C」とした。</p> <p>◎新たな視点として、人口減少時代を迎え持続的な都市経営に向け、都市拠点等に都市機能を集約するコンパクトシティのあり方について議論を深める時期がきている。</p> <p>◎道路、橋りょう、河川、水道、下水道などのインフラ整備については、将来にわたり安全で便利に施設を使い続けていけるよう、長寿命化と安全確保を重視する取組へとシフトしていくことが求められる。</p>						

<主な成果等>

取組1	3年続けて家庭ごみの排出量が減少！
取組2	公害苦情や不法投棄などを未然に防ぐため監視体制を強化！
取組3	太田川、原野谷川ともに水質が改善傾向！
取組4	浅羽海岸環境保全対策ボランティア参加者数が着実に増加！
取組5	(仮)三川公園、ふかみ野草ガーデン、みつかわ夢の丘公園の整備が進む！
取組6	景観の保護、創出に向け眺望地点(14箇所)を指定！
取組7	平成26年11月、袋井駅南北自由通路及び橋上駅舎が供用開始！
取組8	「水道料金等懇話会」の意見を参考に水道事業の更なる健全経営に着手！

<今後の展開方向>

- ◎袋井駅南北自由通路及び橋上駅舎が供用されたことから、袋井駅南地区における土地区画整理事業や民間土地利用の促進を図っていく。
- ◎浅羽海岸地域においては、防潮堤や命山の早期完成に向け万全な体制で取り組む。
- ◎道路、橋りょう、河川、水道、下水道などのインフラ整備については、将来にわたり安全で便利に施設を使い続けていけるよう、適正な安全確保と維持管理・修繕を重視する取り組みへとシフトしていく。
- ◎袋井市ICT推進計画に基づき各分野へのICT活用を促進し、市民サービスの向上と効率的な行政運営を図っていく。

A：順調 B：概ね順調 C：一部順調ではない D：あまり順調ではない

<評価結果>

取組の名称	H26評価					H25評価
	取組指標	有効性等	主要事業	取組評価	今後の展開方向	今後の展開方向
取組1 子育て環境の充実	1.3	3.7	3.6	2.9	↑	↑
取組2 心ゆたかな若者の育成	2.0	3.7	3.9	3.2	↑	→
取組3 芸術・文化・生涯学習の推進	1.3	2.3	3.4	2.4	→	→
平均値	1.5	3.2	3.6	2.8		
総 括						
<p>◎「指標」の評価において、3取組いずれの指標も目標の達成には至らなかったことから低い評価となっている。</p> <p>◎「有効性等」の評価において、取組3は「芸術・文化・生涯学習の推進」という事業の性質上、効果に即効性がなく、中長期的に継続して取り組まなくてはならないものであることから、“緊急性”が低い評価となっているが、取組1「子育て環境の充実」と取組2「心ゆたかな若者の育成」で“必要性”や“緊急性”が極めて高い評価となっており、全体としてやや高い評価となっている。</p> <p>◎「主要事業」の評価において、取組1や取組2については、特に待機児童の解消や子育て支援の充実、人口減少社会を迎え、未来を担う人材育成のため、確かな学力や豊かな心を育てる教育の重要性が高まりをみせる中、いずれの事業も“有効性”が高く、“廃止の影響”も大きいとの評価になっており、全体として高い評価となっている。</p> <p>◎政策全体としては、多様な保育サービスや市独自の教育支援を展開し、事業を推進しているものの、目標の達成に至らなかった項目が多く、低い評価であることから、評価を「C」とした。</p> <p>◎年々高まる保育需要に対応するため、認可保育所の新設や既存施設の定員拡大に努めてきたが、申込者の増加等により、待機児童は平成25年度より11人増えている。そのため、待機児童を解消すべく、たんぼぼ第二保育園、どんぐり保育園の認可に向けて、施設整備補助や認可化移行総合支援補助を行った。</p>						

<主な成果等>

取組1	たんぼぼ第二保育園、どんぐり保育園が新たな認可保育所として平成27年4月に開園！
取組2	子どもたちの学力向上に向け、講師による公開授業を実施！
取組3	「彫刻のあるまちづくり基本計画」に基づき、静橋に彫刻を設置！

<今後の展開方向>

- ◎袋井市子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て環境のさらなる充実を図るとともに、待機児童の解消を目指す。また、放課後児童クラブの受入対象年齢が小学6年生までに拡大されており、平成31年度までに受入体制を整えていく必要があるため、今後の需要を精査し、必要な整備を行っていく。
- ◎公民館のコミュニティセンター化モデル事業の継続的な検証のほか、社会教育施設や各種団体等の社会教育事業の支援を通して、学びや体験、仲間づくり、社会参加などの生涯学習活動が効果的にまちづくりに生かされていく仕組みづくりに取り組んでいく。

A：順調 B：概ね順調 C：一部順調ではない D：あまり順調ではない

<評価結果>

取組の名称	H26評価					H25評価
	取組指標	有効性等	主要事業	取組評価	今後の展開方向	今後の展開方向
取組1 ゆたかな農業の振興	2.8	3.7	3.3	3.3	↑	↑
取組2 魅力ある商業の振興	2.7	3.3	3.9	3.3	→	→
取組3 活力ある工業の振興	2.7	3.7	3.5	3.3	↑	↑
取組4 にぎわいある観光の振興	2.5	3.3	3.8	3.2	↑	↑
取組5 就労の支援	3.0	3.3	3.0	3.1	→	→
	2.7	3.5	3.5	3.2		
総 括						
<p>◎「指標」の評価において、取組1「ゆたかな農業の振興」について、地場産の農作物を使用した学校給食日数が中部学校給食センターの開設等を機に強化し、目標値を大きく超え高い実績値となった。</p> <p>◎「有効性等」の評価において、全ての取組で“3.3”以上となっており、持続的な地域経済の発展を支える産業全般の取組が、高い評価となっている。国際競争への対策が喫緊の課題となっている取組1と取組3が“必要性”と“緊急性”が特に高い評価となっている。</p> <p>◎「主要事業」の評価において、多くの事業で“有効性”が高く、“廃止の影響”も大きいとの評価になっており、特に取組2の「魅力ある商業の振興」と取組4の「にぎわいある観光の振興」が極めて高い評価となっている。</p> <p>◎政策全体としては、産業は財政の安定化や定住促進に繋がる分野であり、市民の生活やまちの基盤として大変重要であることや、全ての取組で前年より改善しているため、評価を「B」とした。</p> <p>◎昨年11月に新袋井駅舎が供用開始し、駅南口が新たにまちの玄関口となることから、中心市街地の活性化に向け、民間投資促進及びソフト事業の推進が必要である。</p> <p>◎人口減少の進展や観光地間競争により、本市においても国内旅行者の誘客は厳しい状況にあるが、一方海外からのインバウンドは拡大の期待ができる。</p>						

<主な成果等>

取組1	ふくろい米のブランド化や生産体制の強化、「ふくほまれ」の品種登録完了
取組2	個店魅力アップ事業として、個店セミナーや個店めぐりスタンプラリーを開催
取組3	山科東工業団地の全区画が完売！豊沢工業団地の整備方針が決定
取組4	新たに「可睡齋ひなまつり」や「花火タイアップ郷土芸能鑑賞ツアー」を開催
取組5	雇用環境の充実を図るため「就職支援セミナー」や「合同企業説明会」を開催

<今後の展開方向>

- ◎農業分野については、環太平洋連携協定（TPP）への参加協議に加え、農業従事者の減少や後継者不足等の影響で衰退が懸念されている一方、健康意識の高まりの中、「食」の重要性が顧みられ、農業の重要性が高まっていることから、優良農地を最大限活かし、収益性の高い農業への転換や地産地消の推進を図っていく。
- ◎商業及び工業の分野については、アベノミクス効果により業況や雇用環境の改善の兆しが見えてきたことに加え、国内でのものづくりを再評価する動きも出てきていることから、新たな工業用地の開発を進めるとともに、魅力ある個店づくりを推進し、地域の活性化に繋げていく。
- ◎外国人旅行者が今後もさらに増えると見込まれるなど、観光が成長産業として注目されている中、遠州三山など本市にある歴史・文化資源や埋もれている資源を掘り起こし、磨き上げていくとともに、広域観光の取組を進めていく。

A：順調 B：概ね順調 C：一部順調ではない D：あまり順調ではない

<評価結果>

取組の名称	H26評価					H25評価
	取組指標	有効性等	主要事業	取組評価	今後の展開方向	今後の展開方向
取組1 市民活動の支援	2.8	3.3	2.8	3.0	→	→
取組2 地域コミュニティの充実支援	2.0	3.7	3.3	3.0	↑	↑
平均値	2.4	3.5	3.2	3.0		

総括

- ◎「指標」の評価において、取組1では「市民公募による協働事業数」が目標に届かず、前年よりも事業数が減っており、取組2では「自治会への加入世帯率」及び「地域活動に参加した市民の割合」が前年よりは伸びているが、目標には達しておらず、全体として“2.0”と低い評価となった。
- ◎「有効性等」の評価において、市民の自主的・主体的なまちづくりやコミュニティの希薄化に対応するための両取組は、今後の市民サービスと行政運営にとって必要不可欠なものであり、“有効性” “必要性”ともに高めの評価となっている。また、市民活動団体の活性化や地域コミュニティ活動への支援は、人口減少や高齢社会に向けての重要な取組であることから、“緊急性”も高まっており、高い評価となっている。
- ◎「主要事業」の評価においては、いずれの事業も比較的高い評価となっているが、個々の取組指標を見ると、目標に対し達成率の低い事業があるため、継続的な事業推進により着実に効果を求めていく必要がある。
- ◎政策全体としては、本政策は地域との合意形成や市民活動団体の育成等、時間をかけながらも一つ一つ進めていくものであり、これまでの取組により着実に推進が図られているため、政策の評価を「B」とした。しかしながら、取組2の基本方針である、「まちづくりへの新たな取組」におけるコミュニティセンター化に向けた検討が継続的な課題となっている。
- ◎平成25年7月から設置した地域担当職員の地域との関わりについて、今後も、より効果的なパートナーシップの推進が図れるよう検討を進めるとともに、「協働まちづくり事業」は平成27年度までの事業となっているため、今後の市民活動団体の育成や活動支援の方法を検討していく。
- ◎袋井宿四〇〇年記念事業に向けては、市民実行委員会により、地域の独自性を発信できるよう、市民主体の取組を進めていく。

<主な成果等>

取組1	創意工夫を活かした、自主的に活動する市民活動団体が着実に増加！
取組2	公会堂などのコミュニティ施設の整備により、地域コミュニティ活動がより活性化！

<今後の展開方向>

- ◎今後、ますます進展する高齢化や人口減少が推移する中、「市民活動団体の支援」と「地域コミュニティの充実支援」は、市民や地域活動団体等にとって、重要な位置づけとなってくることから、地域の特色を活かしたまちづくりを支援していく。
- ◎市民活動団体については、事業費の補助に加え、個々のアイデアや持っている技術を最大限に活かすことができるよう、活動内容や取組目標を効果的に伝える手法を身につけて、継続的な運営がされるよう指導・支援していく。
- ◎「地域担当職員制度」のあり方について、地域の意向と行政の役割の双方向からの視点で、多様化・高度化する住民ニーズに対応できるよう、さらなる「市民と行政のパートナーシップ」の推進を目指していく。